

■□要旨■□

1. 講師自己紹介

1978年 大塚製薬入社。人まねが嫌いで流行は絶対に追わない。有言実行がポリシー。
9歳の時に1万年生きると言われて買った亀が翌日亡くなり、売り主のもとへ説明に行くも、売り主の昨日が1万年目だったんだという説明に怒りが収まり、この出来事が人生の歩み方というもの考えるきっかけとなる。(上司が怒った時に誰かこぶしを落とす人<怒りを収められる人>が必要だと考えた。)

2. 仮説を立てる

成功するまで仮説をたてることが大切。講師自身^{自身}が営業として引き継ぎ無しの病院において、仮説を立て成功した。①ドクターの治療ポリシーは飲食接待や人間関係では変わらない。②営業でも数字は追求しない。③人間はすべて自分勝手である。この仮説に対して実施した内容が1週間に1回の営業。さらに1カ月に2人のドクターのみに営業するという。『他人は変えられないが、自分^{自分}は変えることができる』『過去は変えられないが、未来は変えることができる』という信念で行動した。

3. 意識改革

出来ない100の理由を説明するよりも、やるべき1つの理由を説明することの方が重要であると共に、出来る仮説を立てることも大切になる。アメリカにおいてはポジティブ志向が当たり前で、自分がどう思われているかではなく、会社をどうするかということに重点をおいている。日本企業においても誰がということに論点をあてるのではなく、なぜするのかという本質を問うことが重要であり、日本企業は、この『WhoではなくWhy』に重点をおき、会社をどうするのかという意識が必要である。

4. リーダーに求められること

財務・IT・コミュニケーションはスキルとして必要ではあるが、率先垂範や責任、心という人間力を持っていることがリーダーとして重要である。また、グローバル人材の資質として重要となるものは私心のなさや品格というもので、これらを意識して行動すること必要である。

5. リーダーシップとは

- ①ビジョンを明確にすること
- ②社員モチベーションを上げること
- ③変えられる物にエネルギーを集中させること
 - * 変えられるもの：自分／思考／行動／未来
 - * 変えられないもの：他人／感情／生理反応／過去

■□今回の学び ひとことという■□

既成概念を捨て自分が出来ること、変えられることに対して仮説を立て、有言即実行することが重要であり、様々な資質から構成されている人間力が重要になる。人間力というものは教育することができないため実践知が必要である。修羅場の経験度がものを言う。



■□感想■□『変えられることにエネルギーを集中する』というこの言葉を聞き、胸につかえていたものが取り除かれた感じがしました。自分^{自分}は変えられる。未来は自分の力で変えることができる。すべては自ら動こうとしなければ変化しない。できることを少しずつでも実行することが重要であると再認識しました。渡辺講師の哲学と会社、社員に対する実直な思いを拝聴することができ、大塚製薬という会社の本質を感じることができた講義でした。